

中学生・高校生から 楽しめる読み物



……ちょっと大人……

＝おすすめの22冊＝

穴



サッカー

ルイス・サッカー 作
幸田敦子 訳
講談社

スタンリーは、ついていない男の子。無実の罪で、砂漠の真ん中にある少年院グリーン・レイク・キャンプに入れられてしまいました。そこでは誰もが1日ひとつ、直径と深さが1.5mの穴を掘られます。干からびてかちんこちんの地面に、穴を掘るのは重労働です。人格形成のため、根性を養うためだと大人は言いますが、真実は……。物語がすすむにつれ過去と現在が結びつき、おどろきのラストへと向かっていきます。

あのころは フリードリヒがいた



リヒタ

ハンス・ペーター・
リヒター 作
上田真而子 訳
岩波書店

ぼくとフリードリヒは、同じ年に、同じアパートで生まれました。家族ぐるみで仲よくつきあっていましたが、ヒトラー政権下で、ぼくたちの生活は変わってしまいました。ユダヤ人への迫害が日増しに激しくなり、ユダヤ人であるフリードリヒ一家は差別を受けます。彼の父親は職を失い、一家は次第に追いつめられていくのです。ドイツ人少年の目から見た、第二次世界大戦中の悲劇を描きます。

影との戦い

【ゲド戦記 I】



ルクイン

ルー・グウィン 作
清水真砂子 訳
岩波書店

魔法が日常的に使える時代のお話です。魔法使いを目指すゲドは、修行学校でいい成績を修めています。もともと魔法の素質が強く、わがままで短気な性格だったゲド。気の合わない先輩に自分の魔法の力を自慢するため、禁止されている魔法を使います。それは、死の影を呼び出すことでした。ゲドに襲いかかる死の影から、逃れる方法はあるのでしょうか。ゲドの旅が今、始まろうとしています。

クラブアート



フロイスラ

プロイスラー 作
中村浩三 訳
偕成社

14歳の少年クラブアートは、物乞いです。疲れ果てて眠っている時に、奇妙な夢を見ました。11羽のからすが1本の止まり木にとまり、しわがれた声で言います。まるでクラブアートを呼んでいるかのようです。「シュヴァルツコルムの水車場に来い。おまえの損にならぬだろう！」クラブアートは気にしないようにするのですが、その夢が繰り返されると、とうとうシュヴァルツコルムへ行くことを決めました。

クロニクル 千古の闇 1

—オオカミ族の少年—



ヘイウア

ミシェル・ベイヴァー 作
さくまゆみこ 訳
酒井駒子 画
評論社

少年トラクは、暗い森の中で、途方にくれていました。さっきまで、父さんと一緒に狩りを楽しんでいたのに、悪霊につかれたクマが父さんを狙い、襲いかかってきたのです。父さんは、「人間に近付くんじゃない！おまえの力が知れたら……」と謎めいたことを途中まで話し、そのまま息を引き取りました。トラクには、父さんしか家族がいません。一人ぼっちのトラク。この先トラクは、どう生きていくのでしょうか。

げっしんす 月神の統べる森で



タツミヤ

たつみや章 作
東逸子 絵
講談社

人々はまだ農作を知らず、狩りや漁をし、季節ごとの森や岸边の恵みを受けて生活していました。力を合わせて生きるためにムラをつくり、ともに住んでいます。しかし、海からやってきたヒメカの民は、自分たちの住む場所を堀と柵で囲ってクニと呼び、ムラを襲いました。ムラの若き長アテルイとクニルケは、旅の途中で、翡翠色の目をもつ少年ボイシュマと運命的な出会いをします。これまでのファンタジーではあまり登場することのなかった、縄文時代が舞台です。